



【製品概要】

TSHはシース先端を鋭角に加工し、物体に突き刺して使用するシース熱電対です。
主に食品内部の温度計測に用いられます。

【標準仕様】

素線種類 : T、J、E、K
許容差 : クラス1、クラス2
導線数 : シングル
測温接点 : 非接地（標準）
絶縁抵抗 : 500Vにて100MΩ以上

【特別仕様】

◇シース材質NCF600（インコネル）

【オプション】

◇熱電対専用コネクタ（TKC） P94
◇補償導線（TCW） P95

【型番構成】

TSH - □ - □ - □ - □ - □ - □ - □ - □
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

項目	コード	仕様
基本型式	TSH	内部温度測定用シース熱電対 ツキサシタイプ
①許容差	1	JISクラス1 ※補償導線クラス1使用の場合
	2	JISクラス2
②素線種類	T	タイプST（銅・コンスタンタン）
	J	タイプSJ（鉄・コンスタンタン）
	E	タイプSE（クロメル・コンスタンタン）
	K	タイプSK（クロメル・アルメル）
③素線数	S	シングルエレメント
④シース外径	E	φ3.2mm (SUS316)
	F	φ4.8mm (SUS316)
	G	φ6.4mm (SUS316)
	H	φ8mm (SUS316)
⑤挿入長	□□□	コネクタ下長さ (mm)
⑥補償導線	G	ビニール被覆
	H	ガラス被覆
⑦補償導線長	□□□	補償導線長さ (mm)
⑧特記事項	S	

※使用温度は素線種類及びシース外径により異なります。使用温度は55ページをご参照下さい。
但し、55ページに記載の使用温度はシース部の使用温度です。コネクタ部の耐熱温度は80℃（標準）となります。

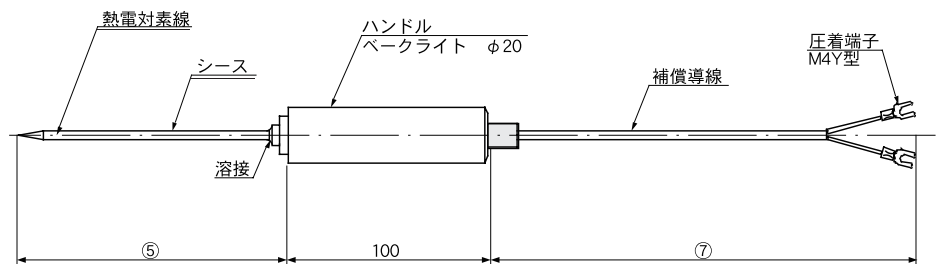
※シースとコネクタのつなぎ部分はシース外径がφ1.0の場合は接着剤による接着とし、それ以外のシース外径の場合は溶接とします。

※補償導線の使用温度範囲は下記の通りです。

被覆材	最高使用温度 (°C)	最低使用温度 (°C)
耐熱ビニール	90	-20
ガラス編組	150	0

※高温でのご使用の際はハンドル部が熱くなる場合がありますのでご注意ください。

【外形図】



➡メタルコネクタタイプは83ページをご覧ください

➡専用コネクタ単品は94ページをご覧ください